神戸物産
KOBE BUSSAN CO., LTD.

PR RELEASE

2018年10月22日
株式会社神戸物産
兵庫県加古郡稲美町

青果（野菜）高騰にも負けない家計の救世主！？「冷凍野菜」商品動向レポート

株式会社神戸物産（本社 兵庫県加古郡稲美町/以下、神戸物産）が、フランチャイズで全国に810店舗を展開（2018年9月末現在）する「業務スーパー」の取扱商品から、**「冷凍野菜」**の商品動向レポートをお届けします。

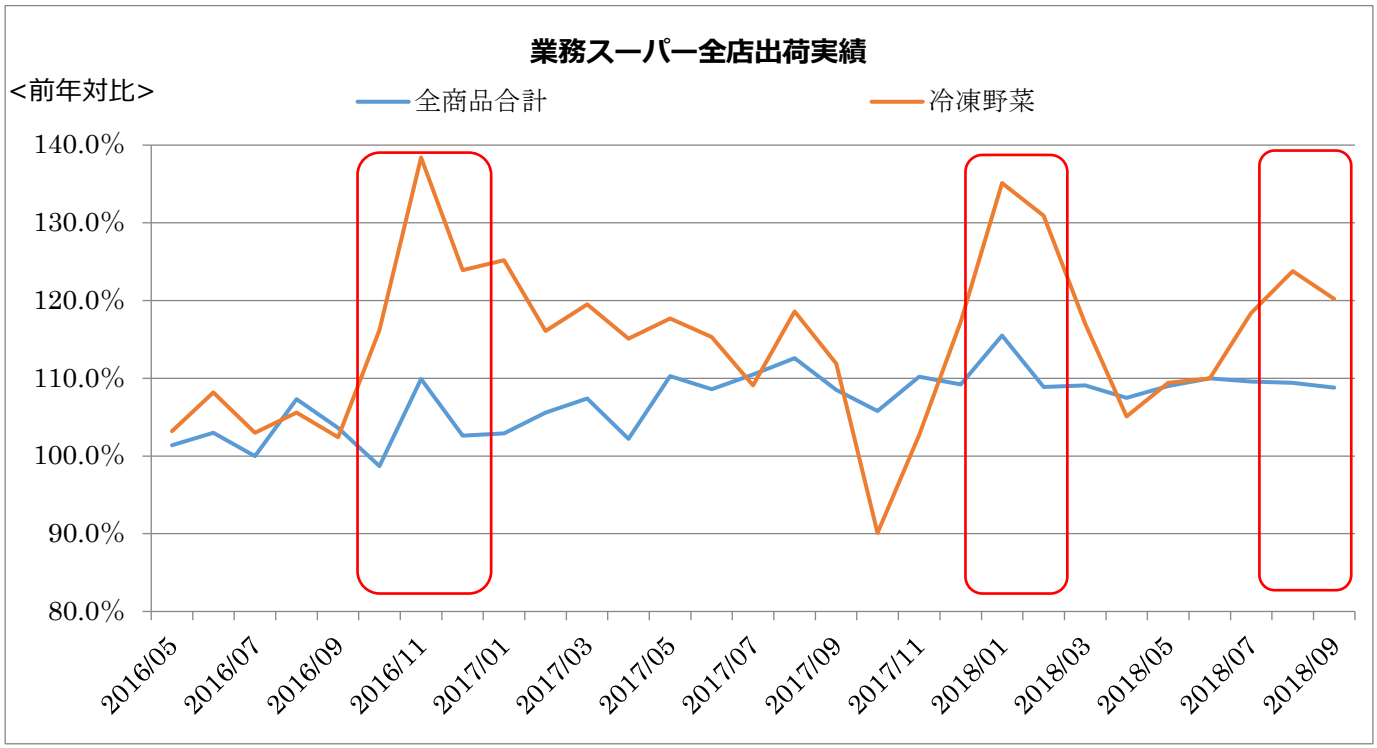
1．なぜ冷凍野菜？

農林水産省は、台風24号による強風や塩害などの影響を受け、一部の青果の価格が平年よりも高くなると予想しています。青果の価格上昇が続けば、家計への影響も考えられます。

このような状況の中、価格の変動しにくい「冷凍野菜」が注目されつつあります。

2．業務スーパーの「冷凍野菜」販売動向

これまでも異常気象などによる青果の価格高騰は、「冷凍野菜」の売れ行きに大きく影響してきました。2016年10月頃は相次ぐ台風、2018年1月頃は長雨などによる全国的な日照不足で野菜の入荷が減少し、青果の価格が高騰しました。それを受けて、「冷凍野菜」の出荷実績は前年実績を大きく上回っています。2018年7月頃からも猛暑や台風などの影響により青果の価格が上昇傾向にあり、「冷凍野菜」の出荷実績が前年実績を大きく上回って推移しています。



※神戸物産から全国の加盟店への商品出荷実績を表しています。

３．冷凍野菜の特長

それでは、「冷凍野菜」がお客様に選ばれる理由をご紹介します。

●価格が安定している

業務スーパーの「冷凍野菜」は、旬の時期に大量に収穫して冷凍保存されます。賞味期限が 1～2 年と長期間で設定されているものが多く、短期的な気候の変化などによる不作で価格が高騰することがありません。いつでもお買い得な価格でお買い求めいただけます。

●下処理済みのものが多く、料理の時短に繋がる

業務スーパーの「冷凍野菜」は、面倒な皮むきなどの下処理をしたものが多く、お料理の時短に繋がります。中には複数のカット野菜が入った「ミックスベジタブル」もあり、スープやピラフなどに大変便利です。

●旬の時期に冷凍するため、栄養価が落ちにくい

冷凍野菜は青果よりも栄養価が劣るという印象があるかもしれませんが、実は青果と栄養価はあまり変わりません。国民生活センターが実施した「冷凍野菜の比較テスト」でも、冷凍野菜（いんげん、枝豆、里芋、ブロッコリー、ほうれん草を各 4 銘柄ずつ、合計 20 銘柄）について、それぞれ日本食品標準成分表の値と比較したところ、全体的な傾向でみると栄養価の大きな損失はなかったとの結果が出ています。

参考：独立行政法人　国民生活センター「冷凍野菜の比較テスト結果」
http://www.kokusen.go.jp/news/data/a_W_NEWS_081.html

４．業務スーパーの「冷凍野菜」のご紹介

それでは、業務スーパーで人気の「冷凍野菜」の一例をご紹介します。

ヨーロピアン野菜ミックス（ベルギー産）	さといも　S サイズ	カットほうれん草
 ■内容量　500g ■価格　148 円 【商品説明】 ミニポテト・芽キャベツ・パールオニオン・ベビーキャロットをミックスしました。シチューやポトフの具材に便利です。	 ■内容量　500g ■価格　148 円 【商品説明】 さといもを軽く湯通しして急速冷凍しました。面倒な皮むきの手間もなく、必要な分だけ取り出してお使いいただけます。	 ■内容量　500g ■価格　148 円 【商品説明】 厳選した新鮮なほうれん草を産地でカットし、急速冷凍しました。おひたしやスープにも便利です。

※価格はすべて税別です。また、時期や店舗により価格が異なる場合や売り切れの場合があります。

この他にも、下処理済みの大変便利な「冷凍野菜」を多数取り揃えて販売しております。
業務スーパーでは、今後もお客様にご満足いただける商品の開発・販売に努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ・取材のご依頼先】
株式会社神戸物産　経営企画部 IR・広報　柴田・花房
電話：079-458-2848　FAX：079-454-2300